

上尾市教育委員会／上尾市立中央小学校

ICT教育推進に向けモデルケースとして校舎内無線LAN環境を構築 実証実験を通じて、市立小中学校全体への展開を目指す



目的

市立小中学校のICT教育を推進する中で、コンピュータ教室以外でのタブレット端末活用に向けてネットワーク環境整備が課題となっていた。より幅広くデジタル教育を行えるよう、普通教室等への無線LAN導入を検討。

ソリューション

既設の校舎内ネットワーク環境を生かし、廊下天井にCiscoアクセスポイントを設置し校舎全体の無線LAN環境を実現。機器の設定・管理・運用は、教職員に負担をかけぬよう「MKIマネージドWi-Fi」の1年間の実証実験により実施。

効果

普通教室で無線LAN接続が可能になり、タブレット端末を活用した新しい学習形態により授業の幅が大きく広がった。体育や理科実験でのタブレット利用等、ICT活用の要望や課題がでて、今後のICT整備に向けたノウハウを蓄積。

上尾市教育委員会では教育現場へのICT導入に力を入れており、その一環として2015年9月、22ある市立小学校のうち上尾市立中央小学校において校舎に無線LAN環境を導入し、実証実験を実施しています。授業用Windowsタブレット端末のネットワーク接続は以前、コンピュータ教室に限られていましたが、無線LAN導入によって普通教室の授業でも授業支援システムなどが使えるようになり、授業の幅が広がりました。教育委員会および中央小学校では、今後のさらなる活用へ向けてノウハウの蓄積を進めています。

上尾市教育委員会では小中学校のICT環境整備を段階的に実施しており、これまでの数年間に、教職員1人1台のノートPC配布や各教室への大型モニタ導入、デジタル教科書および授業支援システムの導入などを行ってきました。2013年度には、小学校コンピュータ教室の端末を、これまでのノートPCに代えてWindowsタブレットへと移行し始めています。



太嶋 佳史氏 上尾市立中央小学校 教諭
三角 正敏氏 上尾市立中央小学校 校長
浅沼 正義氏 上尾市立中央小学校 教頭

タブレットの機動性を生かすべく校舎内無線LAN環境構築へ

ハードウェアとソフトウェアが整いつつある中で、次なる課題となったのがネットワーク環境でした。「タブレット端末の導入により機動性は大きく向上したものの、コンピュータ教室以外の場所では校内ネットワークへ接続ができず、サーバ上にある各種システムも利用できなかったのです。学校側から無線LANの要望もありました」と、教育委員会 教育総務部 教育総務課 副主幹

加藤 滋之氏は言います。

こうした課題に対し、教育委員会で具体的な施策に向けて動き出したところ、三井情報から1年間の無線LAN実証実験の提案を受けました。多くの業者の中から、迅速な対応だけでなく、実証実験中の障害対応等も考慮した三井情報の提案が採用されることになったのです。

MKIマネージドWi-Fiでアクセスポイント管理し教職員の負担軽減

実証実験の対象校として選ばれた1校が上尾市立中央小学校です。「本校では2013年に新校舎が完成し、校舎内には有線LANも敷設されていたこと、また市内の研究推進校という位置付けでもあったことから、実証実験を引き受けることにしました。導入は三井情報が行ってくれたので、我々教職員は何の問題もなく使い始めることができました」と、三角 正敏校長は言います。中央小学校での実証実験を始めるにあたり、1学

年と5学年で公開授業を行うためそれぞれの教室がある2階と4階の廊下天井にCiscoアクセスポイント計4台を設置しました。アクセスポイントの管理は教職員に負担をかけぬよう「MKIマネージドWi-Fi」による24時間365日の監視・運用で対応、また40台のタブレット端末の同時利用でも安定した接続を実現しました。そして中央小学校および教育委員会には、月次レポートなどを通じて三井情報から無線LAN利用状況を報告しています。



名称 上尾市立中央小学校
所在地 埼玉県上尾市上町1-15-4
<https://www.city.ageo.lg.jp/site/chuoh-elementaryschool/>

名称 上尾市教育委員会
所在地 埼玉県上尾市本町3-1-1
<https://www.city.ageo.lg.jp/site/iinkai/>

機動性の高いタブレットと無線LANが、授業のスタイルを大きく変えた

こうして、タブレット端末を普通教室に持ち出してもネットワークに接続できるようになり、授業の幅が大きく広がりました。例えば児童が入力した回答を大型モニタに映し出して全員に見せたり、教員が各児童の端末に資料を配付するといったことも可能となったのです。中央小学校では現在、5年2組を担当する太嶋 佳史教諭をはじめとして、ICT活用の研究授業などを実施しています。

「これまでコンピュータ教室だけで利用していたときはインターネットに接続して調べ物をするといった内容でしたが、今では無線LANに事前にログインすることで、タブレットを持って外に出て情報を集め、後でそのデータを活用するといったことも可能になりました。例えば体育の授業で、児童のマット運動をタブレットで撮影し、スポーツ選手の動画と比較してその場で指導するといった使い方はとても有効です」



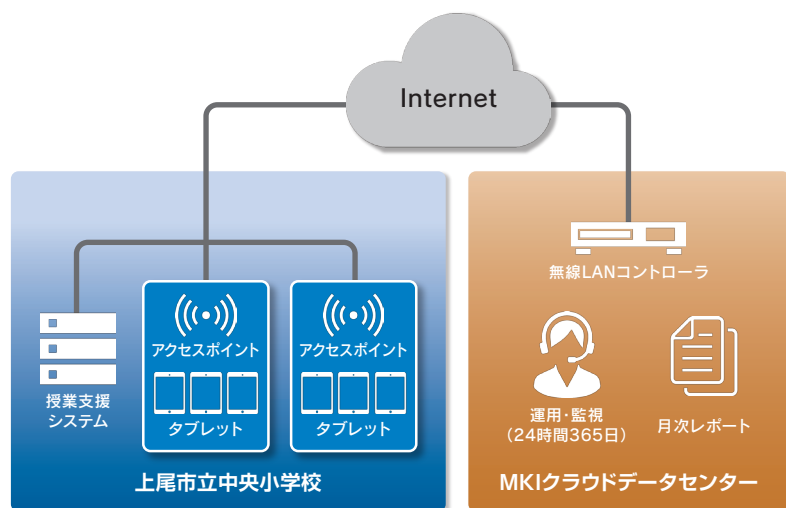
活用範囲を拡大し、ノウハウの蓄積を進めて全ての市立小中学校への展開を目指す

浅沼 正義教頭は、「さらなるICT活用のためには、やはり教職員の研修が必要です。そのためには、もっとICT環境を利用する機会を作りICT活用の核となる人物も育てていく必要があると感じています」と今後の課題を挙げています。

「1年間の実証実験で、いろいろな教科や学習形態で活用することにより有効な使い方や課題点がわかります。活用範囲が広いのでさまざまな検証ができるのはありがたいです。」と、教育委員会 学校教育部 指導課 指導主事 小高 達也氏も語っています。

今回の実証実験のモデル校からでてきた有効なICT活用方法や課題・要望について、学校現場から教育委員会に情報をだしていくとしています。教育委員会ではそれを受けて、教員の指導力向上と児童の学力向上を目指し、実証実験を通じて蓄積したノウハウを元にICTをどのように教育に生かすのかについて、中央小学校をはじめとする教育現場と相談しながら、市立小中学校全体のICT整備を進めていきたいと考えています。

上尾市立中央小学校様 MKIマネージドWi-Fiサービス導入イメージ



廊下に設置した
Ciscoアクセスポイント



※このカタログに記載の会社名、製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。 ※このカタログに記載されている内容は予告なしに変更する場合があります。

【お問い合わせ先】



〒105-6215 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー
E-mail : sales@ml.mki.co.jp

製品・サービスサイト : <http://biz.mki.co.jp/> コーポレートサイト : <http://www.mki.co.jp/>